

資料4

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防の
ための健診・保健指導の基本的な考え方について
(案)

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための 健診・保健指導の基本的な考え方について(案)

	これまでの健診・保健指導
健診・保健指導の関係	健診に付加した保健指導
特徴	プロセス重視の保健指導
目的	個別疾患の早期発見・早期治療
内容	健診結果の伝達、理想的な生活習慣に係る一般的な情報提供
保健指導の対象者	健診結果で「要指導」と指摘され、健康教育等の保健事業に参加した者
方法	一時点の健診結果のみに基づく保健指導 画一的な保健指導
評価	実施回数や参加人数(アウトプット評価)
実施主体	市町村

**最新の科学的知識と、
課題抽出のための分析**

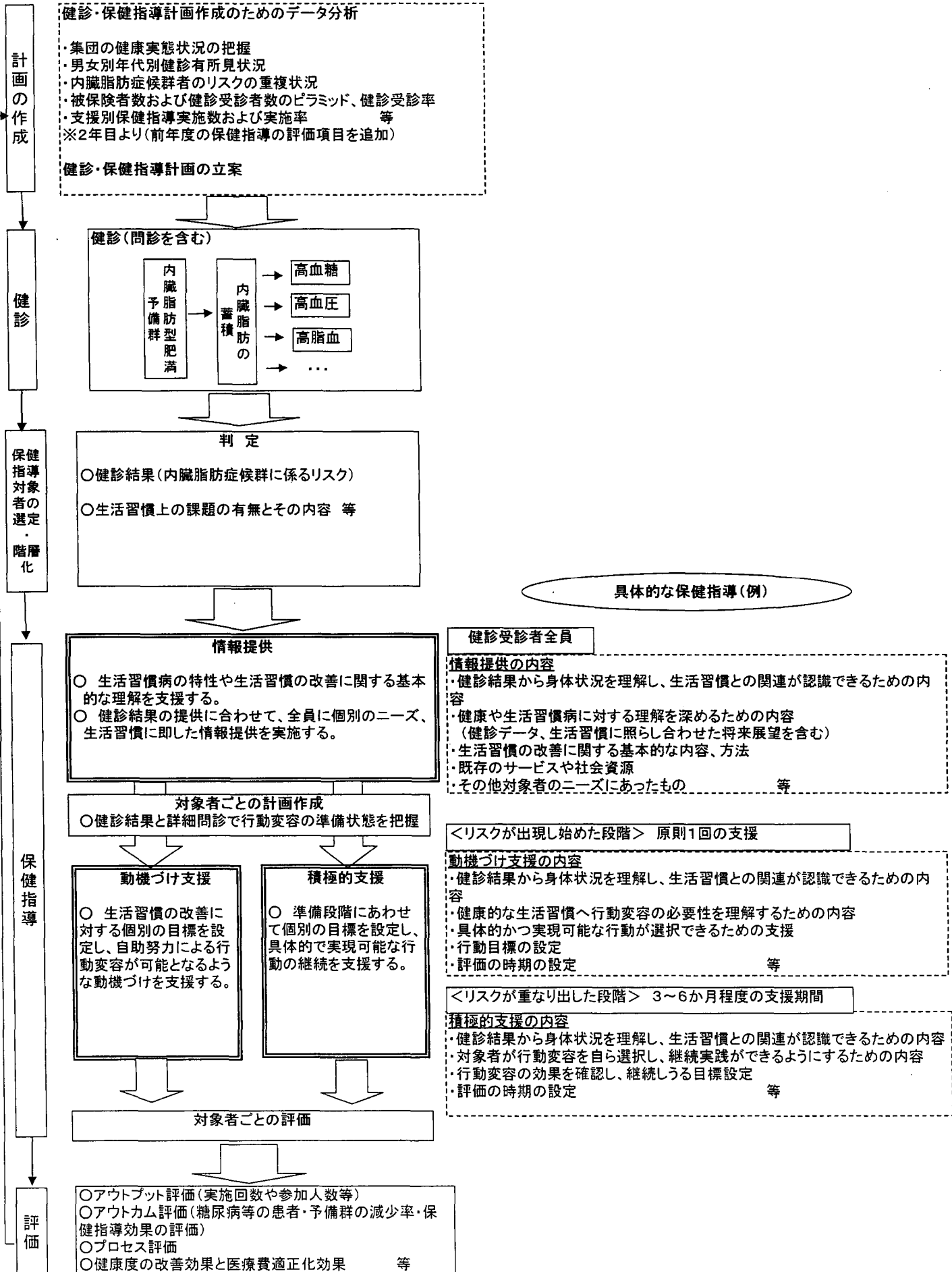
**行動変容を
促す手法**

これからの健診・保健指導
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための保健指導を必要とする者を抽出するための健診
結果を出す保健指導
内臓脂肪型肥満に着目した早期介入・行動変容 リスクの重複がある対象者に対し、医師、保健師、管理栄養士等が早期に介入し、行動変容につながる保健指導を行う
自己選択と行動変容 対象者が代謝等の身体のメカニズムと生活習慣との関係を理解し、生活習慣の改善を自らが選択し、行動変容につなげる
健診受診者全員に対し、必要度に応じ、階層化された保健指導を提供 リスクに基づく優先順位をつけ、保健指導の必要性に応じて「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」を行う
健診結果の経年変化および将来予測を踏まえた保健指導 データ分析等を通じて集団としての健康課題を設定し、目標に沿った保健指導を計画的に実施 個々人の健診結果を読み解くとともに、ライフスタイルを考慮した保健指導
糖尿病等の患者・予備群の25%減少(アウトカム評価)
医療保険者

資料5

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防の
ための標準的な健診・保健指導プログラムの
イメージ(案)

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予防のための標準的な健診・保健指導プログラムの流れ(イメージ)(案)



※具体的な学習、教材等支援のための手法は、科学的根拠に基づいて